

阪急阪神ホールディングスグループの環境活動

E-ECO Vol.9

E veryday E verywhere いいエコで、いこう。

今回の取り組みを行っている団体

阪急交通社
能勢電鉄 六甲山観光株式会社
阪急電鉄株式会社 阪神電気鉄道株式会社

木を間引くと森は元気になる。 どうして？

- ①枝葉を広げる空間が生まれるから
- ②森の中に太陽光が射し込むようになるから



答 ①②両方正解：混み合すぎた木々を間伐(間引き)することで、森は元気になります。枝葉を広げる空間が生まれるだけでなく、薄暗かった森の中に太陽光が射し込み、明るい森になります。

森を豊かに成長させる間伐

原生林とは違い、昔から薪や材木などに利用してきた里山の森には、間伐が欠かせません。なにもしないで放置すると、木々の間隔が狭くなり、太陽光が地面に届かないので、幹の細長い木ばかりのひ弱な森になります。木の成長に合わせて間伐することで、木々は適切な間隔を保ちます。太陽光が十分に降り注ぐ環境の中で、枝葉を広げることによって幹の太い木が育ち、森は豊かに成長します。

グループ各社が
取り組む
森林・自然
環境保全活動

阪急交通社

2008年よりグループ従業員ボランティアによる社会貢献活動として、森林保全のための間伐作業(山梨県小菅村)と、里山保全活動(兵庫県篠山市の宮代地区)を実施しています。



能勢電鉄

能勢妙見山の環境や生物多様性、里山林の保全を目的に、下草刈りや間伐作業など森林整備作業を実施しています。



六甲山観光・ 阪急電鉄・阪神電気鉄道

2010年より毎年、ウォーキングイベント「神戸・六甲山ツアーウォーク」を開催。六甲山の豊かな自然の中を散策するだけでなく、ゴミ拾いをしながら歩く「クリーンウォーキング」として実施しています。



阪急阪神ホールディングスグループ

詳しくは